

会長：三荒弘道 副会長：高橋賢二 幹事：関口幸恵 クラブ会報・IT 委員会委員長：元吉裕員
例会日 毎週木曜日 12:15~13:30
会場 グランドホテル神奈中 2F
事務局 平塚市松風町 2-10 平塚商工会議所内
連絡先 0463-23-5955 (事務局)

2025年 3月13日 第 3510 回 週報第 3510 号

本日 3月13日	会員数 66名	対象者 65名	出席者 42(41)名	出席率 63.64%			
前々回 2月20日	会員数 65名	対象者 64名	出席者 41(40)名	出席率 63.08%	MUP 3名	計 44名	修正率 67.69%

第三回情報集会報告会 テーマ 70周年に向け、今から動くこと PART2 ~5大奉仕：継続したい事業・取り組みたい事業：~

赤グループ 縄嶋智徳幹事 発表者：縄嶋智徳幹事

3月10日(月) イタリア館にて開催。出席者は、三荒会長・関口幹事・杉山(昌)さん・米山(俊)さん・馬上さん・縄嶋の6名。

はじめに三荒会長より、今回のテーマの意図について説明がありました。その後、会長経験者の杉山(昌)さんより「5大奉仕」並びに各事業についての説明がありました。合わせて、関口幹事より、各事業の予算上の課題など、現状の問題点が補足で説明されました。その後、米



山(俊)副幹事の進行でスムーズに意見交換が出来、全員で話し合った中から、3つのキーワードが出てきました。

①持続可能な継続性があるかどうか。
70周年に向けて、新事業を考えることは望ましいことだが、現状の事業に追加することは、予算的にも、また会員の負担的にも厳しいように思われる。現状の事業を、新たに進化させたり、変えていったりした方が、クラブとしても継続性が保てるように思われる。
また、「国際奉仕」は、過去にも行っていたが単発的になりやすかった。そのため、継続性を持たせるため、実際に国外へ行くのではなく、地元平塚で出来る「国際奉仕」を考えるのも良いのではないかと。市内には、たくさんの外国籍の方々もいるので、検討する余地はあるのではないかと。

②みんなが参加できる公平性があるかどうか。
クラブの活動は会員の会費で行われているので、出来るだけ会員みんなが参加でき、みんなに有益な事業であることが望ましい。実際、「巣箱づくり」など一部の会員に負担がかかっている事業もある。
また、今年から一部受益者負担となった「健康診断」も、受診者が少なく、予算的にはかなり厳しい現状がある。受診方法を変えたり、あるいは健康に関する卓話などをしたりして、会員みんなに公平な事業にしておくことも検討して良いのではないかと。

③需要と供給のバランスが保たれているかどうか。
クラブの一方的な考えだけではなく、地域社会や相手方に必要とされているかどうかのニーズを探って、事業を考えていくことが大切である。過去には、良い事業でも相手方の負担となり、終わってしまった事業もあった。

以上、①「継続性」・②「公平性」・③「需要と供給」といった3つのバランスがとれた事業を、70周年に向けて考えて行けたら良いと思われま。今回は、日程の関係上、少人数の情報集会となりましたが、少人数であったことにより、ひとりひとりと深く話すことが出来、有意義な時間となりました。

橙グループ 阿形将之幹事 発表者：阿形将之幹事

開催日時：令和7年3月5日(水)
午後7時~ / グランドホテル神奈中平塚「松風」
出席者：柏手さん&江藤さん(副幹事)、成瀬さん、又城さん、赤津さん、阿形(幹事&書記/当日発表者)

『70周年に向け、今から動く事 PART 2』~5大奉仕：継続したい事業・取り組みたい事業~



1. 各奉仕活動の意義と課題
(1) クラブ奉仕
【意義】会員間の絆を深め、活気あるクラブ作りを通じて組織の基盤を強化する。
【課題】会員増強と既存会員の積極的参加を促進する方法の模索。
(2) 職業奉仕
【意義】職業倫理の向上と専門性を活かした社会貢献を実践する。
【課題】職業スキルを効果的に社会のニーズ解決に結びつける具体的な方法の開発。
(3) 社会奉仕
【意義】地域社会の生活の質を向上させ、より良い社会づくりに貢献する。
【課題】地域のニーズを的確に把握し、持続可能な形で貢献する活動の企画と実施。

(4) 国際奉仕

【意義】国際的な活動を通じて平和と相互理解を促進する。

【課題】効果的な国際プロジェクトの立案と実施、海外パートナーとの協力関係の構築。

(5) 青少年奉仕

【意義】次世代のリーダーを育成し、若者の成長を支援する。

【課題】青少年のニーズや興味に合わせたプログラムの開発と、継続的な支援体制の確立。

2. ロータリークラブの奉仕活動における課題と方向性

- (1) 奉仕活動間のバランス維持
- (2) 各活動の相乗効果の最大化
- (3) 社会変化に応じた活動内容の更新
- (4) 時代のニーズに合わせた継続的な貢献
- (5) 無理のない持続可能な活動の実施

3. 平塚ロータリークラブの今後の取り組みについて

(1) 国際奉仕活動の強化

【現状】5大奉仕活動に十分取り組んでいるが、国際奉仕活動の強化が望ましい。

【課題】海外での直接的な奉仕活動は継続が困難。

(2) 新たな国際奉仕に向けた活動案

①開発途上国への物的支援 (例：楽器寄贈) ②難病対策や災害支援のための募金活動

(3) 地域在住外国人支援の検討

①平塚市在住の外国人 (約 6,000 名) への生活支援

②特に災害時の支援に焦点を当てる

(4) 災害時外国人支援の具体案

【課題】外国人住民の災害経験や日本語理解の不足による避難の遅れ。

【提案】多言語版災害対応ハンドブックの作成。※紙 or デジタル (災害関連用語説明、避難場所情報等)

(5) 今後の方針

①継続性のある活動を重視 ②平塚ロータリークラブ全体での協議を通じて、具体的な支援方法を検討

黄グループ 松尾裕子幹事 発表者：松尾裕子幹事

参加者：高橋建二会員、清水裕会員、福澤正人会員、前田孝平会員、葛西敬会員、瀬尾光俊会員、

黄グループの情報集会は3月10日(月)若むらさきにて7名で行われました。美味しいお料理とお酒を堪能しながらの楽しい会となりました。



■70周年に向け、平塚ロータリークラブビジョン声明を念頭に、将来どんなクラブに発展させることができるか？5大奉仕に沿った平塚クラブとしての活動・事業について話し合った意見

・現状、古いことをやり続けていて、新しいことができない状況であり、時代に合わせた変化が必要になってきている

・社会奉仕の一環である巣箱づくりや、青少年奉仕の少年少女マラソン大会など、他の団体に引き継いでいくことも検討しているのではないか

- ・台湾を含めた姉妹ロータリークラブについても、定期的に見直すことも必要ではないか
- ・また、募金活動についてはポリオ以外の募金活動を検討するのも一案ではないか
- ・現在、児童相談所が逼迫している状況のため、子ども食堂や花火大会への招待など、そういった形での貢献もできるのではないか
- ・花巻ロータリークラブの良い取り組みについて、ノウハウを共有して取り組むのも一案
- ・国際奉仕が遅れているという認識のため、外国人向けの防災セミナーをやってみたり、平塚に遊びに来てもらえるよう花火大会だけではなく、総合体育館がスラムダンクの舞台になっていることや、その他 SNS や TikTok などを活用した情宣を通じて、友達もつれて平塚に来てくれる仕掛けが必要

上記のような意見が出ました。

総じて、時代の変化に沿って、先進的に5年をめぐりに取り組み内容を見直し、新しい事業に取り組むことが必要だという意見が多かったです。皆さんのノウハウを集結して、平塚をより良いクラブになるよう取り組んでいければと思いました。

緑グループ 小澤敦史幹事 発表者：小澤敦史幹事

「緑」グループの情報集会は、3月5日(水)18時30分からイタリア館にて、常盤卓嗣会員、白石慎太郎会員、鈴木忠治会員、森誠司会員、青山紀美代会員、元吉裕員会員、原田篤志会員、小澤敦史会員計8名の出席で行われました。

・「変革者がいないと始まらない」

平塚ロータリークラブビジョン声明には、「変革と進化に挑戦」とあります。ある会員から、変革者がいないと何も始まらないとありました。すなわち、会員自身の資質を日々向上させていき、会員一人ひとりが変革者たることこそが、70周年に向けて肝要なことであるということです。大変示唆に富んだご発言がありました。



・「人のために頭を下げるような人でありたい」

ある会員から、自分のために頭を下げてくれている人がいることを半年後、1年後に知ることがあって、その人の人間性について大変感銘を受けたというお話がありました。人のために頭を下げることはなかなかできないこと。地域への奉仕を考える時に、そういった利他の精神こそが肝要なことであるということです。大変示唆に富んだご発言がありました。

・事業の在り方

以上のような会員自身の資質向上を前提として、新たな事業を展開するというよりも、今ある事業をどうブラッシュアップしていくべきかに焦点を当てた方が良いのではないかという意見が出ました。具体的には、「米山の同窓会」には大きな可能性があるというご発言があり、深掘りしていても良いのではないかといいました。

・最後に

そういった会員自身の資質向上、既存事業のブラッシュアップのその先に、クラブの新たな可能性が広がっていくはずだと、未来へ目を向けた前向きな発言が多くありました。

地域やクラブの明るい未来について語り合う、大変楽しく、有意義な情報集会となりました。

青グループ 相原直子幹事 発表者：相原直子幹事

参加者：今村佳広、鳥海衛一、小野学、高橋賢二、飯塚和夫、嶋田政光、新堀将一、高橋茂久会員と相原直子グループ幹事です。

青グループは、3月6日木曜日に小料理「若むらさき」にて情報集会を実施しました。

美味しい料理とお酒も入り、情報集会の後の懇親会も有意義な時間となりました。和やかな雰囲気の中で、活発な意見交換が行われ、70周年に向けた具体的な取り組みについて深く議論いたしました。



1. これまでの取り組みと課題

(1) 60周年の国際奉仕活動（高橋賢二氏より）

- 中国・広州の感染病患者支援として補助金を提供し、現地視察を実施。
- 現地の大学生との交流や帰国後の懇談会を開催したが、単年度で終了。
- 課題として、継続性の難しさと地理的な距離の問題が挙げられた。

2. 5大奉仕における新たな取り組み案

(1) 国際奉仕のあり方

（小野学氏・鳥海衛一氏・飯塚和夫氏）

- 長期的なビジョンに基づき、会員の負担が少なく継続可能な事業を模索。
- 井戸建設や学校支援のように、現地訪問を最小限にする寄付型支援の提案。
- 持続可能な活動の例として、「使用しなくなったピアノの海外寄贈」や「歯磨き指導プログラム」の導入。
- 一過性の支援よりも、国内の困窮する子どもたちへの食事支援も重要視。

(2) 国際奉仕の実行可能性と新たな方向性

- 平塚市在住の外国人（約6,000～7,000人）への支援が、国際奉仕の新たな形として有効ではないか。
- 「地域外国人支援＝社会奉仕」との見方もあり、語学教育や異文化交流を通じた奉仕活動を推奨。

(3) 地域貢献と社会奉仕

- 年に1～2回、子ども食堂への米などの食材支援を実施。
- 日本文化の国際発信として、古本のマンガやアニメを海外の施設に寄贈する案を提案。
- 観光促進の一環として、平塚市の魅力を外国人向けに発信し、地域活性化を目指す。

3. 組織の発展とロータリークラブの認知度向上

- 70周年までに会員数を70名に増やすことを目標に掲げる。
- ロータリークラブの認知度向上に向けた施策として、市内清掃活動を強化。
- 在住外国人のための日本語教育支援を通じ、社会奉仕と国際奉仕の両立を図る。
- 他ロータリークラブと連携したり、交流奉仕イベント（BBQなど）の実施を検討。

4. まとめと今後の課題

- 国際奉仕の方向性として、海外支援と国内在住外国人支援の両面を検討。
- 継続可能な支援体制の構築が不可欠であり、負担を軽減しつつ効果的な方法を模索する。
- 70周年に向けた会員増強と社会的認知度向上を意識した活動を進める。

今後、具体的な計画を策定し、実行に移していくための議論をさらに深めていく。

紫グループ 中野豊幹事 発表者：中野豊幹事

開催日時：3月7日 18:00～

開催場所：マーレ夕陽丘（11名全員参加）

参加者：升水一義会員・清水孝一会員・柳川信男会員・小林誠会員・平井敬規会員・松本崇会員・守屋宜成会員・杉山利行会員・芦川栄子会員・事務局吉野さん
幹事：中野豊

- ① 5大奉仕に対する現状の取組みならびに現状認識について
⇒5大奉仕のうち、クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・青少年奉仕の4大奉仕については、平塚ロータリークラブとして十分に取組んでいる奉仕活動であるとの認識でした。

直近だと青少年奉仕（少年少女マラソン大会）・職業奉仕（健康診断）があり、今後も社会奉仕（巣箱づくり）が予定されている。これらの取組は、平塚ロータリークラブとして長きにわたり取組んでいる奉仕活動で大きな成果（認知）されている活動。



- ② 今後もこれらの奉仕活動を継続・発展させていくためには
⇒多くの会員が参加できる活動であることが不可欠であり、奉仕活動の内容を定期的に精査していくことも必要との意見がありました。併せて、開催時期が各種イベント・行事等と重ならないよう調整していくことで、多くの会員が多くの奉仕活動に参加がしやすい環境作りを進めていくことも必要との意見もありました。
⇒今後の青少年奉仕については、深刻化している少子化問題も見据えた取組みと内容の創意工夫が必要であり、多くの子供が参加できるイベントの開催を検討していくことが今後の青少年奉仕の活動発展に繋がるとのご意見もありました。

- ③ 国際奉仕活動への取組みについて、十分な成果が出ているとは言えない現状について

⇒国際奉仕活動を行うにあたり具体的にはどのような奉仕活動があるのか?現状はどのような活動状況なのか?といった質問が会員の皆さんからありました。

⇒現状の国際奉仕活動は、各種活動に対する資金援助を行っているに留まっている。

⇒ワクチン接種のように現地に赴いて直接奉仕活動を継続して行っている活動もある。

⇒一時的な支援でなく継続して国の発展に寄与できる事業への奉仕活動を行うことが重要。

⇒「テーマを決める」⇒「インフラ整備への支援」⇒「自国の水を安心して飲める国づくり」

⇒平塚在住の外国籍の方に対する国際奉仕も身近で大事な活動ではとの意見がありました。

○ロータリアンとしての自覚を持つ!

○もう12月、光陰矢の如し!早くやりたいことをして後悔の無いように。

幹事報告

◎ I Aクラブの様子について

本日、守屋 I A 委員長より、クラブHP活動報告に平塚学園 I Aクラブでの例会活動報告がUPされております。週報だけでなく活動報告も是非ご覧頂き、I Aクラブの様子もご確認下さい。

◎地区RYLAセミナーについて

3月22日・23日地区RYLAセミナーが開催されます。清水裕地区RYLA委員が22日に参加されます。

◎次年度、財団・米山記念奨学会寄付調査について

昨日、次年度ロータリー財団・米山記念奨学会寄付の調査票をお送りいたしました。昨年までとご案内およびご回答内容が変更となっております。

必ずお目通しいただき、またご理解を頂き、期日内での回答をお願い致します。ご協力をお願い致します。

◎大船渡大規模山林火災被害支援について

先日岩手県大船渡市で発生いたしました大規模な山林火災により、多くの方々が被害を受けました。

地区より「令和7年大船渡大規模山林火災被害支援」といたしまして少しでも支援すべく、皆様にご協力の要請がありました。お一人1,000円以上のご寄付を頂きましたら幸いです。

災害はいつどこで起こるか判りません。明日は私たちかもしれません。募金箱を回しますのでご支援をよろしくお願い致します。

◎3月20日(木)は休会です

来週3月20日(木)は祝日週ですので、休会となります。次の例会場での例会は3月27日(木)市長卓話です。お間違えの無いよう、また多くの皆様の出席をお願い致します。

委員会報告

○IIM実行委員会、江藤博一実行委員長

今日皆様のお手元にインターシティミーティングの報告

書をお渡しいたしました。QRコードを読んでいただきますと、映画以外はほとんどフルで映像を見ることが出来ます。当日来られなかった方も、ぜひ見ていただくと嬉しいです。どうぞよろしくお願い致します。

○クラブラーニング委員会、鈴木忠治委員長

3月18日火曜日、18時30分から第2回研修会を行います。テーマは、今日からロータリアン、今更聞けないロータリアン基礎知識や日ごろの心得など、情報交換、意見交換を図って行きたいと思えます。ぜひぜひ参加していただければと思います。

現在18名の参加をいただいておりますが、まだ出欠のご連絡がない方はご連絡ください。研修後の懇親会は、創作居酒屋ゴクリというお店で開催いたします。

どうぞよろしくお願い致します。

R財団よりボール・ハリス・ソサエティの認証状



升水一義会員へ
認証状と襟ピンの贈呈

入会式

株式会社和田機材
代表取締役 和田克己様



今週のお祝い

誕生日祝い・・・米山範明会員、柳川信男会員
結婚祝い・・・鈴木忠治会員

メイクアップ (MUP) 3名

笹尾茂樹会員、高橋建二会員、守屋宣成会員

本日のスマイル 18名+5グループ
+ゴルフコンペ

ゲスト 1名

日越ゆい株式会社 チャン・バン・ティエップ様

ビジター 0名

卓話・行事予定

3月20日(木) 祝日週により休会
3月27日(木) 平塚市長 落合克宏様
4月 3日(木) 入会記念卓話 杉山利行会員

市内例会変更 現在ございません

